

システム活用しやすい環境づくりとは
せっかく導入したシステムが活用されない！
DXを絵に描いた餅にしない4つのポイント



はじめに

DXの推進を妨げる一番の要因とはなにか？

アフターコロナによるテレワークの推進、企業のDX化の加速により、複数のクラウドサービスを業務の中で活用するのが当たり前といえるようになってきました。

一方で、クラウドサービスを導入したけれども運用において「使われない」「使いづらい」という課題からせっかく導入したサービスが活用されず、コストだけがかかってしまった、ということも増えています。

このような結果は企業のDX推進を妨げる一番の要因ともいえるでしょう。

テクバンではその理由を理解し、対策を知ることが、DX推進を成功に導く鍵であると考えています。本資料では、その対策について簡単にまとめました。

INDEX

はじめに	1	第3章 情シスの負担を増やさないでDXを浸透させるには	
DXの推進を妨げる一番の要因とはなにか？		1. DX推進に必要なのは情シス担当者のリソース確保	13
第1章 DX推進の鍵となる「クラウドサービス活用」		2. アウトソーシングを活用し業務を適正化	14
従業員規模別にみるIT 基盤における企業の優先課題とは	4	3. 導入支援サービスの活用	15
DX推進を加速するのに必要不可欠なクラウドサービス活用	5	4. 経営層、社内制度へのアドバイス	16
クラウドサービス活用が進まない要素とは？	6	導入支援と社内ヘルプデスク	17
第2章 システムを活用して生産性を上げるための4つの取り組み		おわりに	18
1. なんのためのシステムか、明確にする	8	貴社のDX推進を様々な角度からサポート	
2. 本当に必要な機能を吟味して導入する	9	企業情報	
3. 導入後の運用を見据えて社内業務を整備する	10		
4. 従業員のIT活用をサポートする仕組みを作る	11		